



エコアクション21

認証・登録番号 0006912

環境経営レポート

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）

認証・登録日 2011年4月22日



日研トータルソーシング株式会社
株式会社アビリティーニッケン
株式会社アルテクナ
株式会社日研環境サービス
サンワ株式会社
株式会社インターテクノ
アルムメディカルサポート株式会社

作成：2021年10月20日

目次

1. 日研トータルソーシング及び関連各社・事業内容	1
2. エコアクション2.1 運用組織図・責任と権限	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境負荷と環境目標・実績	4
5. 環境経営目標	5
6. 2020年度 環境活動結果・評価	7
6-2 環境負荷実績 日研トータルソーシング(株)	10
6-3 環境負荷実績 (株)アビリティーニッケン	11
6-4 環境負荷実績 (株)アルテクナ	12
6-5 環境負荷実績 サンワ(株)	13
6-6 環境負荷実績 (株)インターテクノ	14
6-7 環境負荷実績 アルムメディカルサポート(株)	15
7. 環境経営活動トピックス	16
8. 環境関連法規等の遵守状況	16
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	17

1. 日研トータルソーシング及び関連各社・事業内容

1. 日研トータルソーシング及び各社・事業内容・設立

社名	本社所在地	事業内容・資本金・職員数	設立
日研トータルソーシング株式会社	東京都大田区	人材派遣・業務請負・有料職業紹介事業	1981年4月
https://www.nikken-totalsourcing.jp		資本金：5,000万円 職員数：1,207名	
株式会社アビリティエニッケン	東京都大田区	人材派遣・業務請負・有料職業紹介事業	1989年5月
https://www.abil.co.jp		資本金：5,000万円 職員数：18名	
株式会社アルテクナ	東京都大田区	人材派遣・業務請負・有料職業紹介事業	1984年5月
https://www.altekna.com		資本金：5,000万円 職員数：52名	
株式会社日研環境サービス（特例子会社）	東京都大田区	オフィスサービス・ハウスクリーニング	2004年5月
http://www.nikke-ks.com		資本金：1,000万円 職員数：77名	
サンワ株式会社	大阪府大阪市	人材派遣・業務請負・有料職業紹介事業	1986年2月
https://www.sanwa2801.com		資本金：1,000万円 職員数：23名	
株式会社インターテクノ	大阪府大阪市	人材派遣・業務請負・有料職業紹介事業	1989年3月
https://www.imter-techno.jp		資本金：1,000万円 職員数：38名	
アルムメディカルサポート株式会社	静岡県三島市	人材派遣・業務請負・有料職業紹介事業	1991年3月
https://www.arum-md.com/		資本金：5,000万円 職員数：44名	

総人員：1,459名

<日研トータルソーシング>

札幌事業所・岩見沢登録事務所・帯広登録事務所・函館登録事務所

弘前事業所・八戸登録事務所・青森登録事務所・北上事業所・盛岡登録事務所・秋田登録事務所・鶴岡登録事務所・古川事業所・仙台事業所・仙台オフィス・登米登録事務所・仙南登録事務所・郡山事業所・いわき登録事務所・福島登録事務所

<アルムメディカルサポート>

札幌支店・盛岡採用センター

<日研トータルソーシング>

長岡事業所・上越登録事務所・新潟登録事務所・新潟オフィス・上田事業所・松本事業所・長野登録事務所・甲府登録事務所・三島事業所・浜松事業所・掛川事業所・静岡オフィス・三島オフィス・富士登録事務所・岡崎登録事務所・豊橋事業所・知立事業所・名古屋事業所・豊田オフィス・名古屋オフィス・多治見営業所・豊田登録事務所・名古屋登録事務所・大垣登録事務所・岐阜登録事務所・富山事業所・金沢事業所・福井登録事務所

<アルムメディカルサポート>

甲府事業所・愛鷹事業所・富士川事業所・富士研修・就労サポートセンター・新富士コンタクトオフィス・甲府支店・富士支店・名古屋採用センター

<日研トータルソーシング>

出雲事業所・松江登録事務所・米子登録事務所・鳥取登録事務所・岡山事業所・倉敷登録事務所・高松事業所・徳島登録事務所・松山登録事務所・高知登録事務所・広島事業所・広島オフィス・福山事業所・山口事業所・周南営業所・下関登録事務所

<アルムメディカルサポート>

広島採用センター

<日研トータルソーシング>

福岡事業所・博多オフィス・小倉登録事務所・久留米登録事務所・大分登録事務所・佐賀登録事務所・長崎事業所・熊本事業所・熊本オフィス・熊本登録事務所・宮崎登録事務所・鹿児島登録事務所・那覇登録事務所・沖縄登録事務所

<アルムメディカルサポート>

熊本採用センター

<日研トータルソーシング>

仙台テクノセンター・高崎テクノセンター・横浜テクノセンター・名古屋テクノセンター・関西テクノセンター・東広島テクノセンター・熊本テクノセンター

<日研トータルソーシング>

滋賀事業所・草津事業所・京都事業所・大阪事業所・明石事業所・関西オフィス・京都オフィス・大阪オフィス・天王寺オフィス・神戸オフィス・四日市事業所・津事業所・福井オフィス・福井登録事務所・彦根登録事務所・奈良登録事務所・枚方登録事務所・梅田登録事務所・和歌山登録事務所・姫路登録事務所

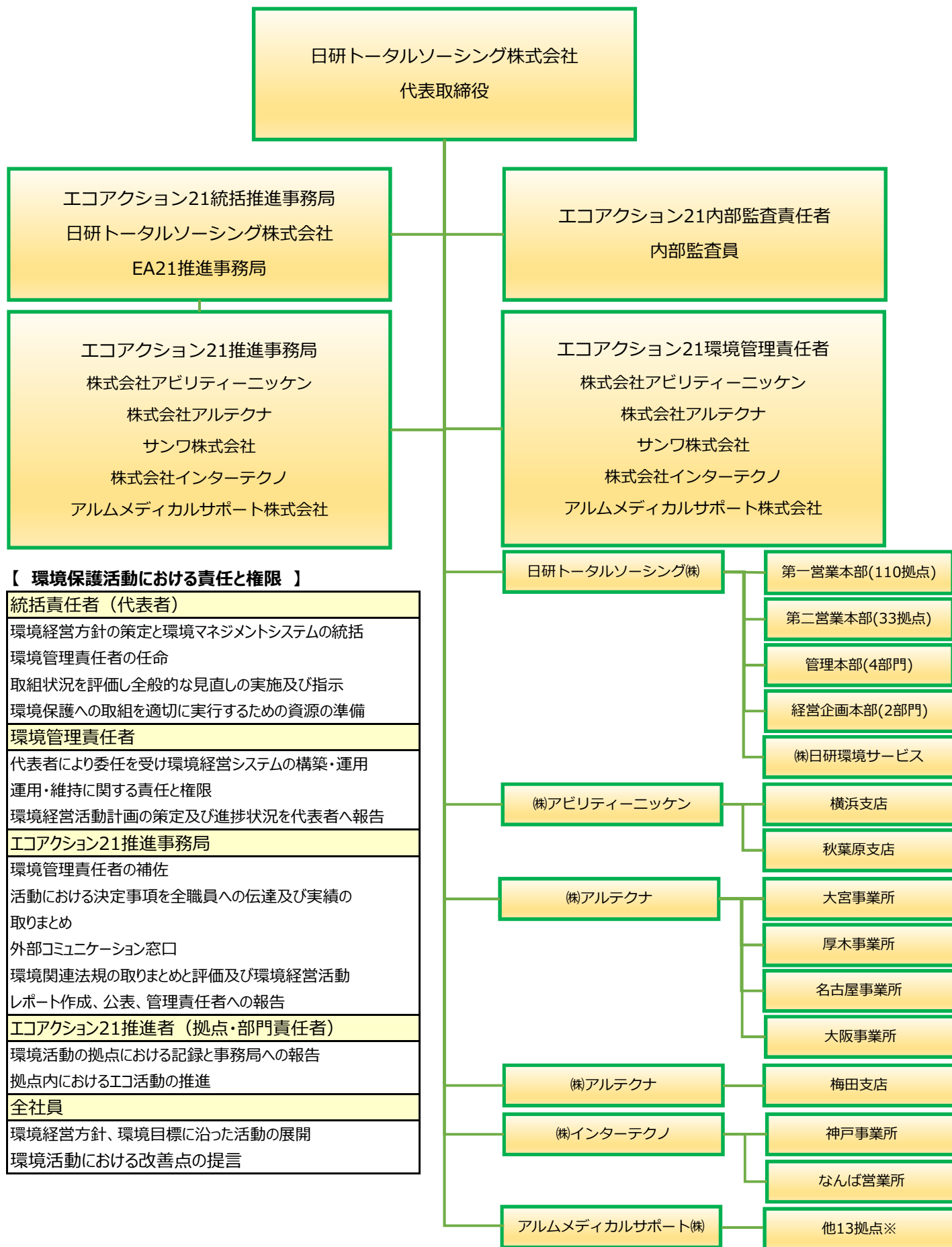
<アルテクナ>

大阪事業所

- 日研トータルソーシング(株)
- (株)アビリティエニッケン
- (株)アルテクナ
- サンワ(株)
- (株)インターテクノ
- アルムメディカルサポート(株)



2. エコアクション21 運用組織図・責任と権限



※アルムメディカルサポートは、2021年より2025年までに段階的に対象範囲を拡大します。

【 環境経営方針 】

《基本理念》

日研トータルソーシング及び関連会社は、環境問題への取り組みを社会的責務と認識し、全社員一人ひとりが環境への優しさを優先して行動します。

《 行動指針 》

日研トータルソーシング及び関連会社は、アウトソーシングのリーディングカンパニーとして数多くのユーザーの労務コストの削減と生産性向上に寄与し、多様な産業文化で信頼と実績を築き上げてまいりました。

そして今後は、この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置付けて全ての社員と協力し、環境経営マネジメントシステム（エコアクション21）を構築、運用し継続的改善に努め、地域に密着した環境保護活動を行い、同業他社との差別化を図るために、以下の事項について積極的に取り組み、社会に貢献することを目指します。

○環境関連法規制、条例その他の規則を遵守します。

○環境経営目標を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。

○日研トータルソーシング及び関連会社は、次の環境活動を計画的に全社員で取り組み実施します。

- i 業務効率化により、勤務時間の適正化を図り、電気使用量及び社有車の燃料使用量を減らし、二酸化炭素の排出量削減に努めます。
- ii 3R(Reduce=廃棄物の発生抑制、Reuce=再利用、Recycle=再資源化) 及びグリーン購入を推進し廃棄物の排出量を削減します。
- iii 敷地から排出する水の汚染、汚濁を防止し、水の使用量を削減します。

○提供するアウトソーシングの質を向上させるための環境教育を全社員に行います。

○この環境経営方針を全社員に周知し、環境活動レポートと共に社外に公表いたします。

日研トータルソーシング株式会社
株式会社アビリティーニッケン
株式会社アルテクナ
株式会社日研環境サービス
サンワ株式会社
株式会社インターテクノ
アルムメディカルサポート株式会社

日研トータルソーシング株式会社
代表取締役
清水 浩二

2019年10月1日 改定
2010年 3月8日 制定

4. 環境負荷と環境目標・実績

環境経営方針に掲げたとおり、「日研トータルソーシング及び関連会社は、アウトソーシングのリーディングカンパニーとして数多くのユーザーの労務コストの削減と生産性向上に寄与してきました。今後は、事業活動における環境への影響を理解し環境経営を最優先課題と位置付けて全社員と協力し、環境経営マネジメントシステム（エコアクション21）を構築、運用し継続的改善に努め、地域に密着した環境保護活動を行い、社会に貢献することを目指します。」とあるように地球温暖化を進めまいための環境保護活動を行ってきました。

《 2015年度～2019年度までの実績 》

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	1,976,766	1,922,067	1,912,496	2,017,172	2,170,376
電力使用量 (kWh)	470,052	456,462	451,124	452,934	447,086
ガソリン給油量 (リットル)	714,355	743,034	729,356	827,282	858,011
複合機カウンター数	9,303,874	10,465,788	11,333,224	12,899,699	13,127,257
コピー用紙購入数	8,315,609	8,945,450	8,639,350	11,165,500	10,658,965
上下水道使用量 (m ³)	2,902	3,216	3,421	3,316	3,049
一般廃棄物排出量 (kg)	27,080	27,047	26,367	27,368	28,633
二酸化炭素排出係数※1	0.496	0.491	0.474	0.399	0.399
二酸化炭素排出係数※2	0.523	0.496	0.418	0.518	0.334

※1：日研トータルソーシング、アビリティニッケン、アルテクナ（2017年12月からオリックス電力）※2：サンワ、インターテクノ（関西電力）

※3上下水道使用量、一般廃棄物排出量は各拠点がテナントのため使用量、排出量が把握できないため、日研トータルソーシング本社の数値



日研トータルソーシングでは、2015年度以降事業拡大による職員増員により社有車が327台（2016年3月）から533台（2020年3月）に206台増車した結果、ガソリン給油量が約133,000リットル増えました。社有車はリース車両で更新時にハイブリッドなどのエコカーへの切り替えを行っています。2019年度は78%がエコカーに更新しました。また、テレマティクスを全車両に搭載し、急加速や急発進、速度超過、無駄なアイドリングなどを日々監視しています。

＜GPS機能を搭載した運航管理システム「テレマティクス」＞



5. 環境経営目標

5-1 環境目標

2018年度まで、3年ごとに中期経営計画を策定して環境活動を行ってきました。2019年度以降は、2018年度の実績を基準とし、3年ごとに計画を見直します。

区分	項目	基準年	3年間の目標			
		2018年度実績	2019年度目標	2020年度目標	2021年度目標	
二酸化炭素排出量	総排出量の削減	2,146,785kg-CO ₂	基準年度比▲1% 2,144,639kg-CO ₂	基準年度比▲2% 2,142,493kg-CO ₂	基準年度比▲3% 2,140,347kg-CO ₂	
	電力の削減	438,767kWh	基準年度比▲1% 438,328kWh	基準年度比▲2% 437,889kWh	基準年度比▲3% 437,450kWh	
	ガソリンの削減	827,372 ℓ	基準年度比▲1% 826,545 ℓ	基準年度比▲2% 825,718 ℓ	基準年度比▲3% 824,891 ℓ	
環境配慮	複合機カウンター数の削減	12,836,473枚	基準年度比▲1% 12,823,637枚	基準年度比▲2% 9,117,797枚	基準年度比▲3% 9,118,148枚	
	コピー用紙購入数の削減	11,155,500枚	基準年度比▲1% 11,144,344枚	基準年度比▲2% 8,149,297枚	基準年度比▲3% 8,083,010枚	
	上下水道使用量の削減	3,316m ³	基準年度比▲1% 3,313m ³	基準年度比▲2% 3,310m ³	基準年度比▲3% 3,307m ³	
	一般廃棄物の削減	27,368kg	基準年度比▲1% 27,341kg	基準年度比▲2% 27,314kg	基準年度比▲3% 27,287kg	
教育	環境教育の実施(入社/定期)	26,346名	入社時/定期教育全社員受講			

環境目標・実績数値について

電力使用量・上下水道使用量・一般廃棄物排出量

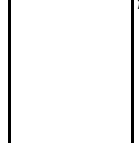
日研トータルソーシングの各拠点（143拠点）は、テナントビルのため電力使用量、上下水道使用量、一般廃棄物排出量の把握が正確に計測できないため、日研トータルソーシング本社ビルの使用量、排出量としています。

5-2 環境活動計画（詳細）

区分	項目	活動の具体的内容	活動場所	担当部署
二酸化炭素排出量	電力使用量管理	エアコンスイッチの周辺に、温度・湿度計を置き適正温度・湿度表を掲示し、温度の適正管理を行う。 クールビズの期間を前後1ヵ月延ばし節電する。	全拠点 全部門	全拠点 全部門

日研トータルソーシング及び関連会社は、環境保護活動をSDGs(持続可能な開発目標)の各目標にあてはめて活動します。

区分	項目	活動の具体的内容	活動場所	担当部署
二酸化炭素排出量	電力使用量管理	夏場は、エアコンの吹き出し口ごとに扇風機を配置し適正温度を保つ。 トイレ、給湯室や未使用会議室の消灯。 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を	全拠点 全部門	全拠点 全部門
	ガソリン・軽油給油管理	エコドライブの励行（エコドライブ10のすすめ） 適正経路の選定。 アイドリングでの長時間停車の禁止。 車間距離の確保、急停車・急発進の抑制。 余分な荷物は整理して降ろす。 3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさも守ろう	一般道 高速道	対象拠点

区分	項目	活動の具体的内容	活動場所	担当部署
環境配慮	複合機/コピー用紙管理	ペーパーレスによる会議・打合せ プリント時の2アップ、両面、冊子設定の推進 確認資料のPDF化 複合機利用状況の開示、指導 Web会議への移行 紙媒体から電子媒体への移行検討      	全部門 全拠点	全部門 全拠点
	上下水道使用管理	節水の呼びかけ 上下水道使用量の把握    		
廃棄物	一般廃棄物排出管理	ペットボトル、缶、プラスチック等の分別、排出抑制 テナントビルのゴミ分別、ゴミ排出ルールの確認・遵守 新聞紙、雑誌、段ボール等の分別、排出抑制 産業廃棄物（什器、キャビネ、パーテーション等）排出削減、他拠点での再利用 シュレッダー処理ゴミの削減       	全拠点 全部門	全拠点 全部門 総務部
教育	環境教育	入社時・定期教育の実施 環境経営マネジメントシステム（エコアクション21）教育と意識の向上 提供するアウトソーシングの質を向上させるための教育をスタッフへ実施 クライアントでの環境保護活動への参加 SDGs教育、周知   	全部門 全拠点	エコアクション21推進事務局

《地域コミュニケーション》

地域清掃活動を実施！

日研トータルソーシングの福山事業所に在籍しているスタッフが、取引先周辺の道路沿いのゴミを回収、分別して廃棄しました。今回が初めての清掃活動で、週ミーティング中に、取引先や地域社会への貢献の観点から清掃活動の提案があり、スタッフ全員参道のもと実現しました。今後は地域社会への貢献との認識の下、清掃活動を続けていく方針です。



清掃活動はミーティングの時間を活用して実施しました。

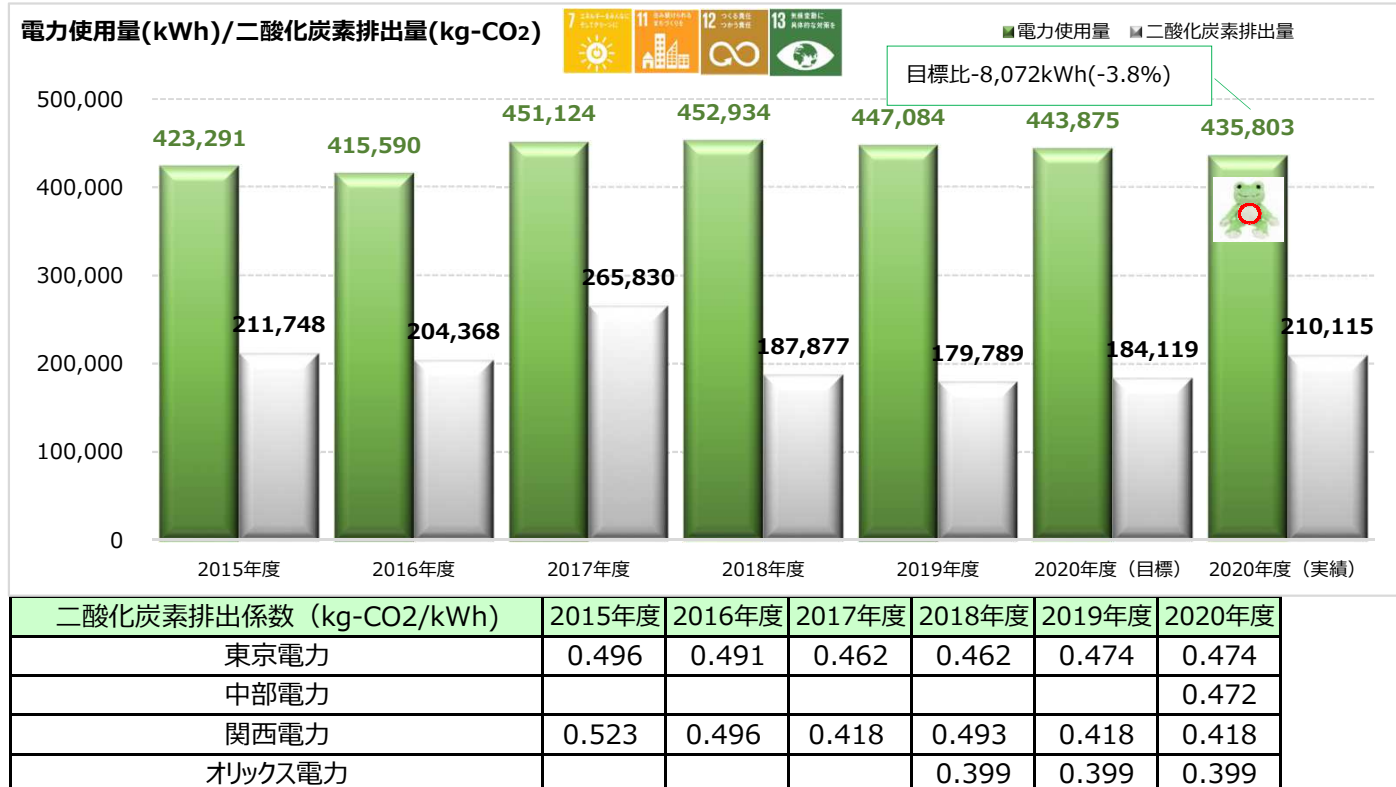
6. 2020年度環境活動結果・評価

6-1 環境負荷実績 日研トータルソーシング及び関連会社

区分	項目	基準年	2020年度目標	2020年度実績 (目標差)	達成度
		2018年度実績			
二酸化炭素排出量	総排出量の削減	2,107,172kg-CO ₂	2,065,028kg-CO ₂	1,876,748kg-CO₂ - 188,280kg-CO ₂	-10.9%
	電力の削減	452,934kWh	443,875kWh	435,803kWh - 8,072kWh	-3.8%
	ガソリンの削減	827,282 ℓ	810,737 ℓ	723,098 ℓ - 87,639 ℓ	-12.6%
環境配慮	複合機カウンター数の削減	12,899,699枚	12,641,705枚	10,316,917枚 - 2,324,788枚	-20.0%
	コピー用紙購入数の削減	11,165,500枚	10,942,190枚	8,937,200枚 - 2,004,990枚	-20.0%
	上下水道使用量の削減	3,316m ³	3,250m ³	2,613m³ - 637m ³	-7.1%
	一般廃棄物の削減	27,368kg	26,820kg	25,200kg - 1,620kg	-6.0%
教育	環境教育の実施 (入社/定期)	26,346名	入社時/定期教育 全社員受講	20,180名	100.00%

2020年度は、4月以降新型コロナウイルス感染拡大のため営業活動の自粛やテレワークにより、全ての項目で削減できました。外的要因で削減できましたが、今後はWeb会議などで移動を減らしガソリン給油量の削減に努めます。

また、2021年の更新審査よりアルムメディカルサポート株式会社もエコアクション21の拡大審査を受けました。今回は本社のみですが、2025年までにすべての拠点に拡大します。



※二酸化炭素排出係数は、各事業者の調整後排出係数を使用しています。

電力使用量は、目標に対して-8,072kWh (-3.8%)となりました。2020年度より、アルムメディカルサポートの本社が対象サイト拡大になり、二酸化炭素排出量は目標に対して+25,996kg-CO₂ (+14.1%)となりました。

2021年度は、中期計画の最終年度(3年目)となりますが、新型コロナウイルス感染予防によるテレワークによる使用量の削減となりましたので、今後算出方法を検討します。

ガソリン給油量(ℓ)/二酸化炭素排出量(kg-CO₂)

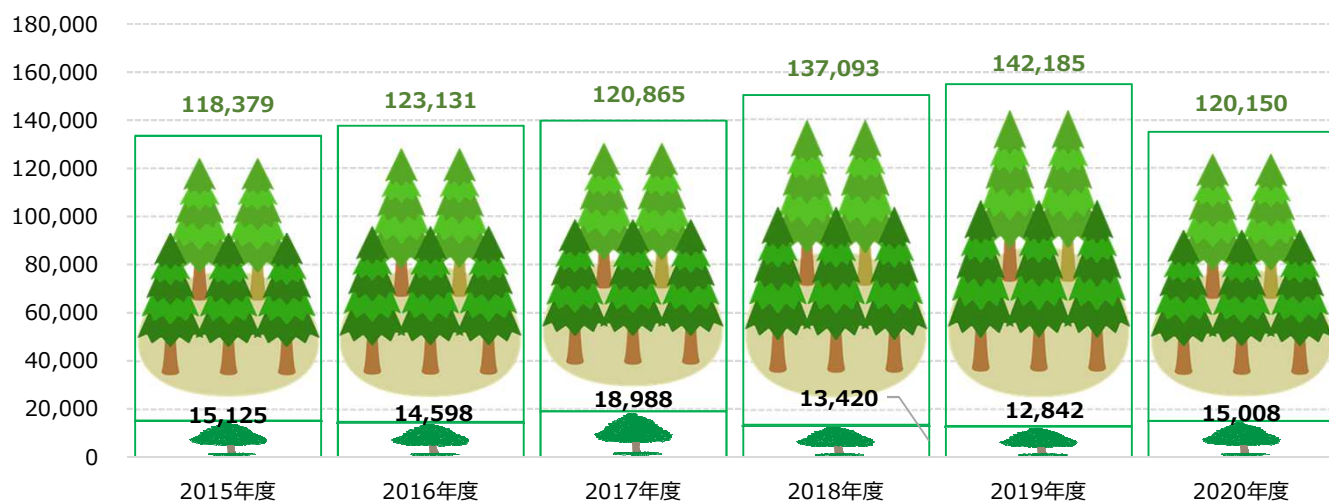
■ガソリン給油量 ■二酸化炭素排出量



ガソリン給油量は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業活動の自粛、テレワークの実施等により目標に対し-12.6%となりました。車両はリースで更新時にハイブリッド車などのエコカーに入れ替えています。引き続きエコドライブを実践します。

二酸化炭素排出量(杉の木CO₂吸収換算)

■二酸化炭素排出量(電力) ■二酸化炭素排出量(ガソリン)



電力使用量とガソリン使用量による二酸化炭素排出量を、杉の木が年間で吸収される二酸化炭素排出量※を相殺するための必要本数に換算しました。この杉の木を植林する場合は、約40～50haの土地が必要になります。

※樹齢約50年で高さが約20～30mの杉の木は、1本当たり年間約14kg-CO₂吸収します。

複合機カウンター数/コピー用紙購入数/両面プリント割合



■複合機カウンター数 ■コピー用紙購入数 ◆両面プリント率



複合機カウンター数、コピー用紙購入数はテレワーク等により目標値より-20%となりました。Web会議については、今後も継続することを検討しています。また、両面プリント率は2019年度比で-7.8%となっています。再度教育等で周知します。



上下水道使用量は、前年度と同様に全国各拠点から集まる会議をWeb開催を継続し、また、テレワーク導入により出社人数が少なくなり目標対比で-19.6%となりました。

※上下水道の使用量は、各社、各拠点ともテナントで使用量の実数把握ができないため、日研トータルソーシング本社ビルの数値です。



一般廃棄物の排出量は、テレワーク導入により出社人数が少なくなり目標に対して-6%でした。排出した廃棄物のうち再利用されなかったのが、11,300kg(44.8%)で、そのうち9,400kgが再利用に適さない紙類でした。抄色紙の排出が原因と思われますが、詳細が不明ですので2021年度は排出される紙類の調査を行い、再利用できる紙に変更できないか検討します。

※一般廃棄物排出量は、各社、各拠点ともテナントで使用量の実数把握ができないため、日研トータルソーシング本社ビルの数値です。



電力使用量(kWh)



夏季のエアコン使用時に天井からの吹き出し口ごとに扇風機を設置し温度調整をこまめに行ったことや未使用の会議室や給湯室、トイレなどの消灯を意識的に行った結果、-1%の削減はできませんでしたが目標値を下回りました。

ガソリン給油量(リットル)



2020年5月～8月、11月～2021年2月まで、営業活動を自粛したため、ガソリン給油量が目標比で-10%となりました。また、Webでの会議等を行ったため移動時間と走行距離も減っています。

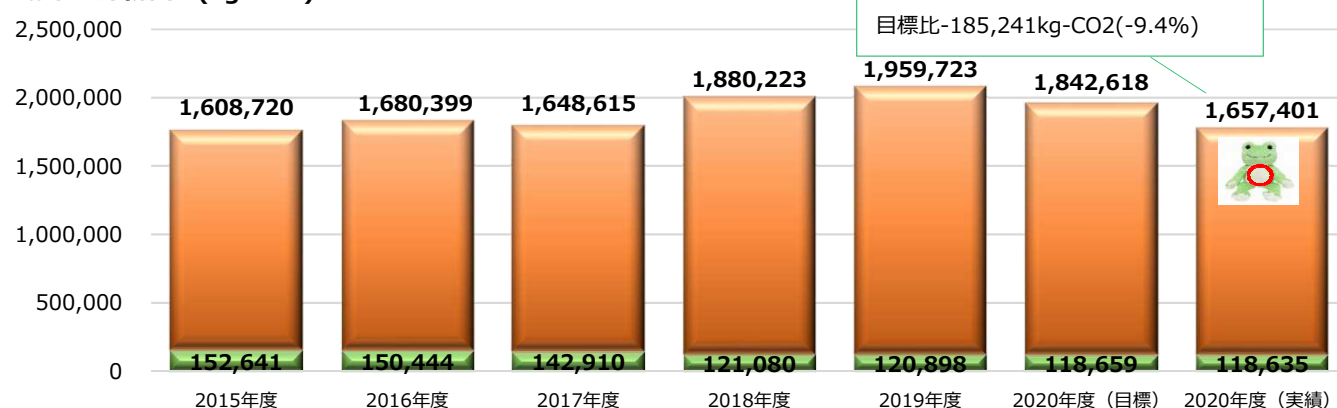
複合機カウンター数/コピー用紙購入数/両面プリント率



テレワークの導入で、複合機カウンター数が目標比18.2%、コピー用紙購入数が-17.9%となりました。両面プリントは目標よりも数値は下回りました。引き続き両面プリント等を推奨しコピー用紙の削減に努めます。

二酸化炭素排出量(kg-CO2)

■二酸化炭素排出量(電力) ■二酸化炭素排出量(ガソリン)



電力使用量(kWh)



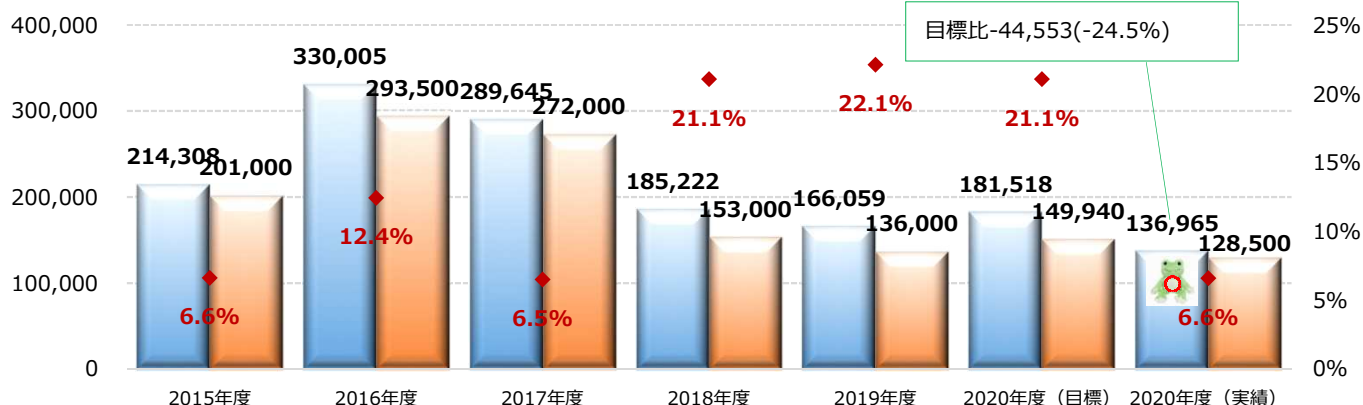
電力使用量は、2020年4月～9月、11月～2021年2月までテレワークを実施したため、会社への出勤日数が減ったことにより目標に対して-15.8%になりました。2021年度は状況を見ながらテレワークの実施を検討します。

ガソリン給油量(リットル)



ガソリン給油量は、横浜支店の営業稼働エリアが車を使用しない取引先が増えたことにより、-1,165ℓ(-47.2%)となりました。引き続き公共交通機関等を利用した営業活動を行います。

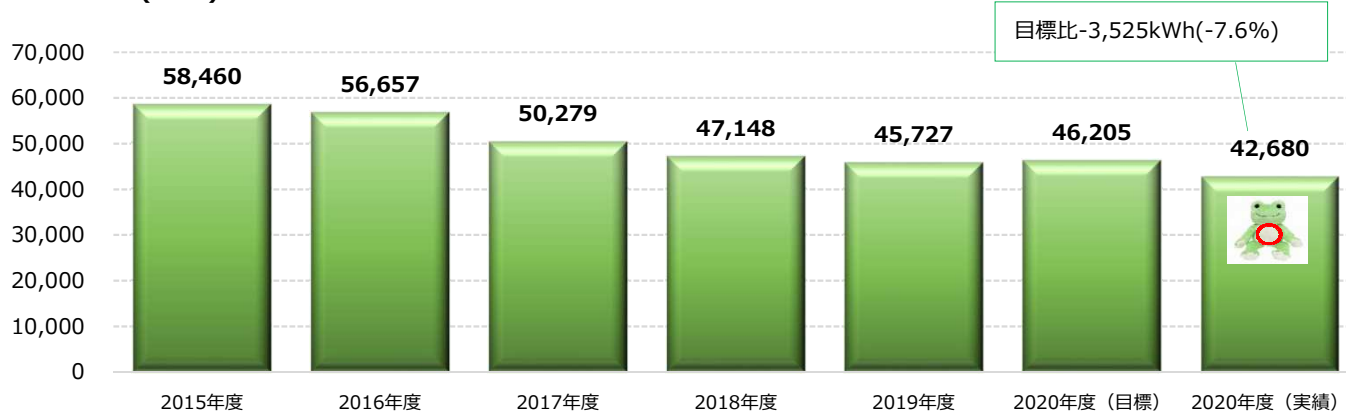
複合機カウンター数/コピー用紙購入数/両面プリント率



複合機カウンター数とコピー用紙購入数は、支店での業務内容の見直しにより複合機カウンター数が-44,553枚、コピー用紙購入数が-21,440枚の削減ができました。他の支店や本社でも展開できないか検討します。

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)

電力使用量(kWh)



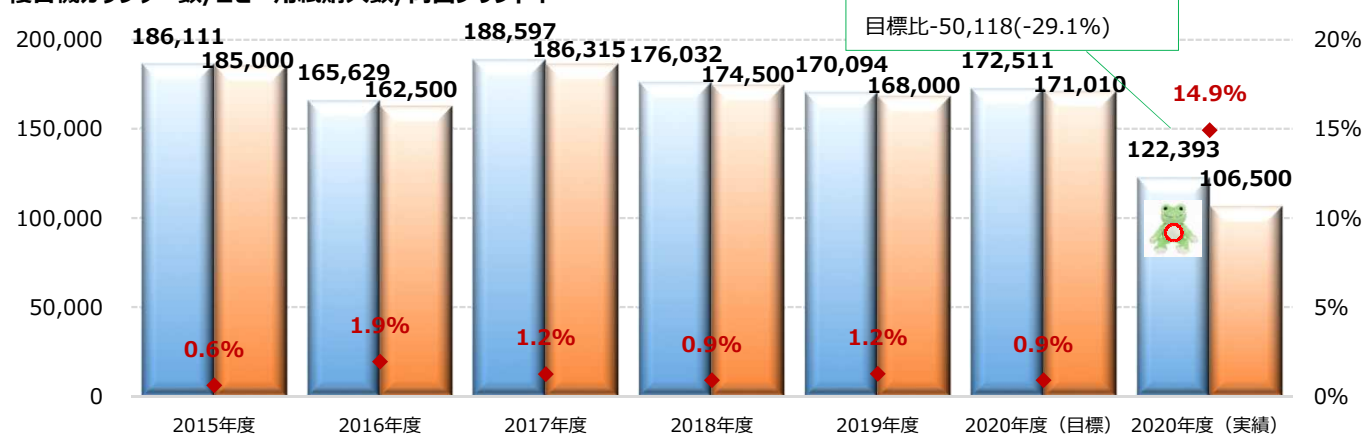
電力使用量は、2020年4月～9月、11月～2021年2月まで新型コロナウイルス感染拡大によりテレワークを実施したため、会社への出社日数が減ったため、電力使用量が減りました。今後もテレワークの実施を検討します。

ガソリン給油量(リットル)

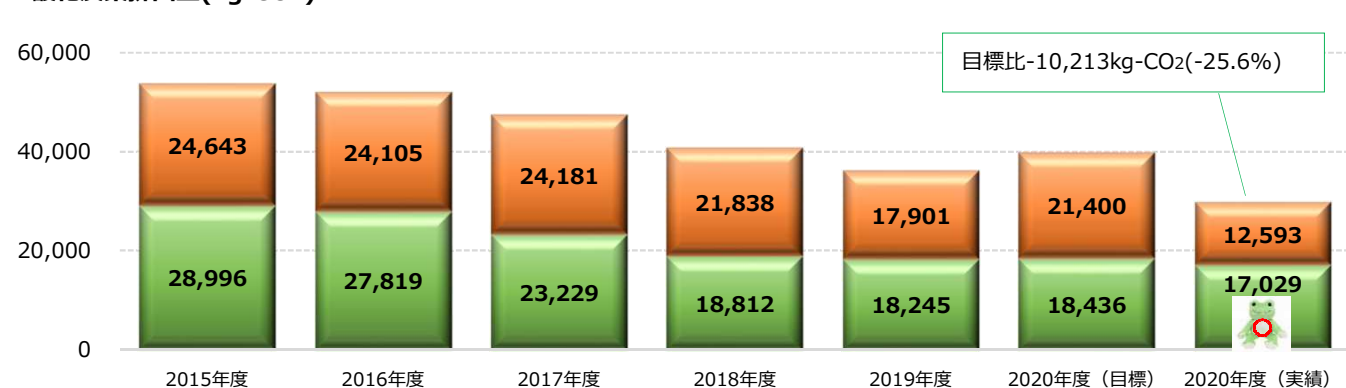


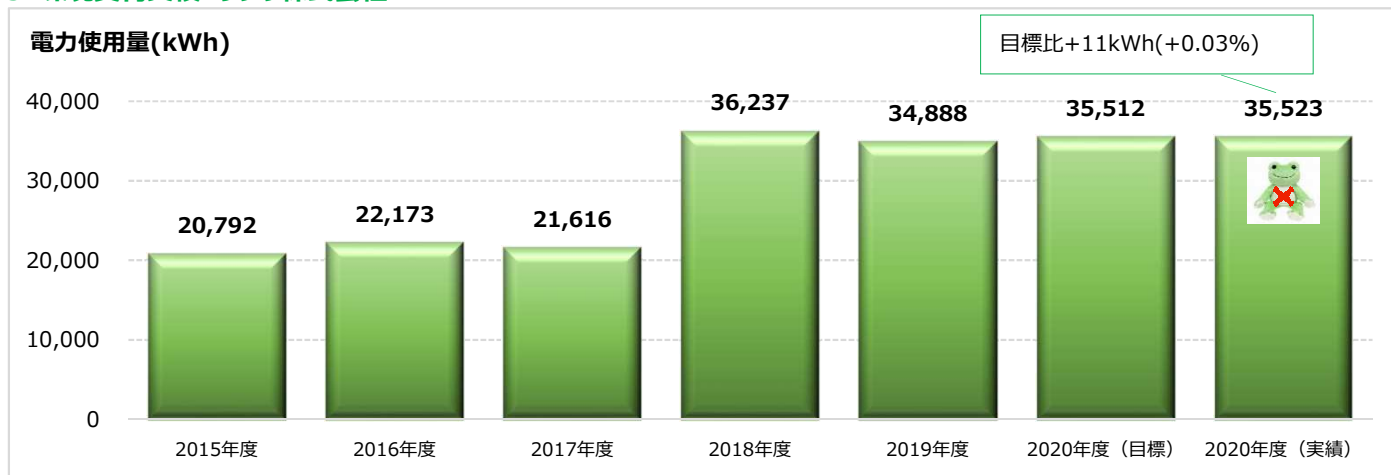
2020年5月～8月、11月～2021年2月まで、営業活動を自粛したため、ガソリン給油量が目標比で-41%となりました。今後は、営業先とのWeb面談等により、ガソリン給油量の削減に努めます。

複合機カウンター数/コピー用紙購入数/両面プリント率



テレワークの実施によりコピー用紙の購入数が減りました。両面プリントでのコピー用紙使用数の削減に注力します。

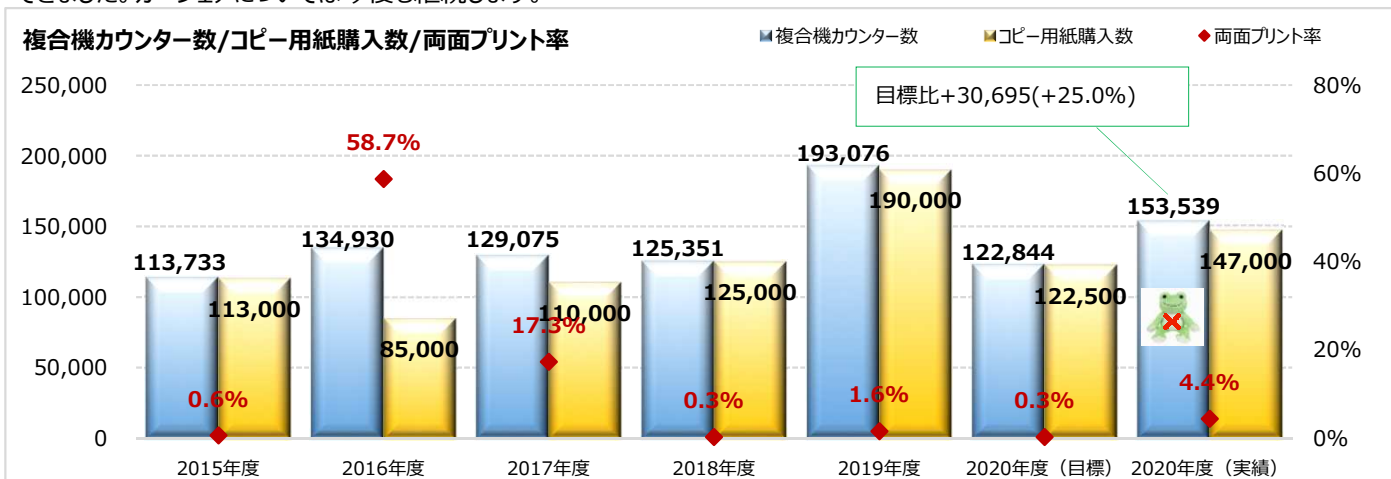
二酸化炭素排出量(kg-CO₂)



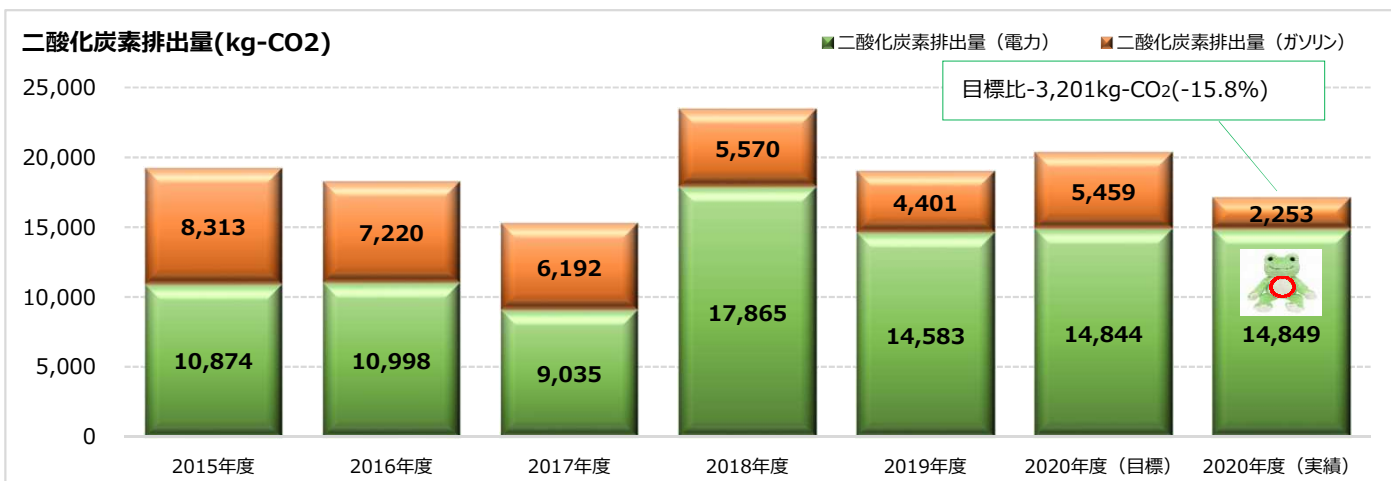
2018年に本社を移転しました。占有面積が大きくなったので電力使用量が増加しています。2020年度は未使用フロアの消灯等の節電対策を行いました。目標に対し+11kWhとなりました。引き続き節電について周知します。



ガソリン給油量は新型コロナウイルス感染対策による営業訪問の自粛とカーシェアの利用を促進した結果、大幅に削減できました。カーシェアについては今後も継続します。



コピー用紙の使用量は、派遣法改正に伴う「キャリア形成支援」に関わる使用の作成に伴い目標未達となりました。

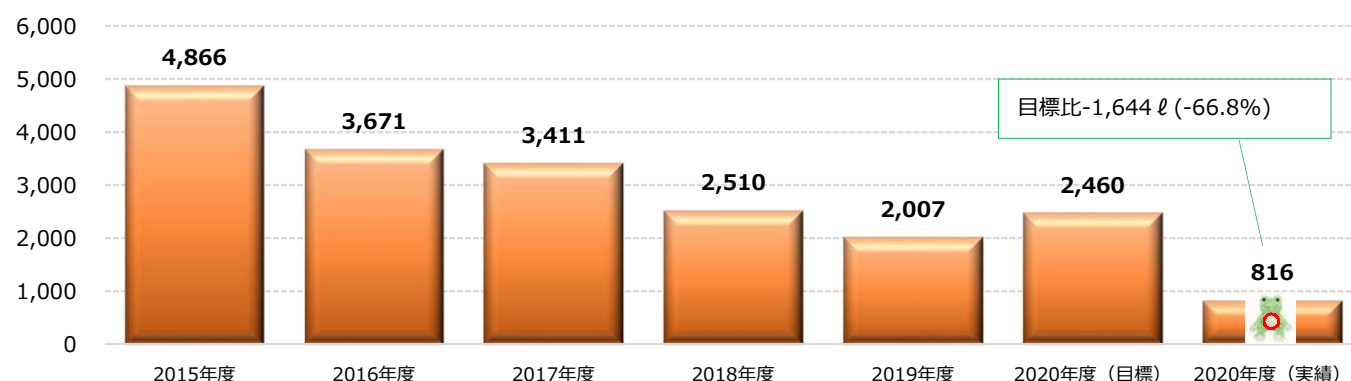


電力使用量(kWh)



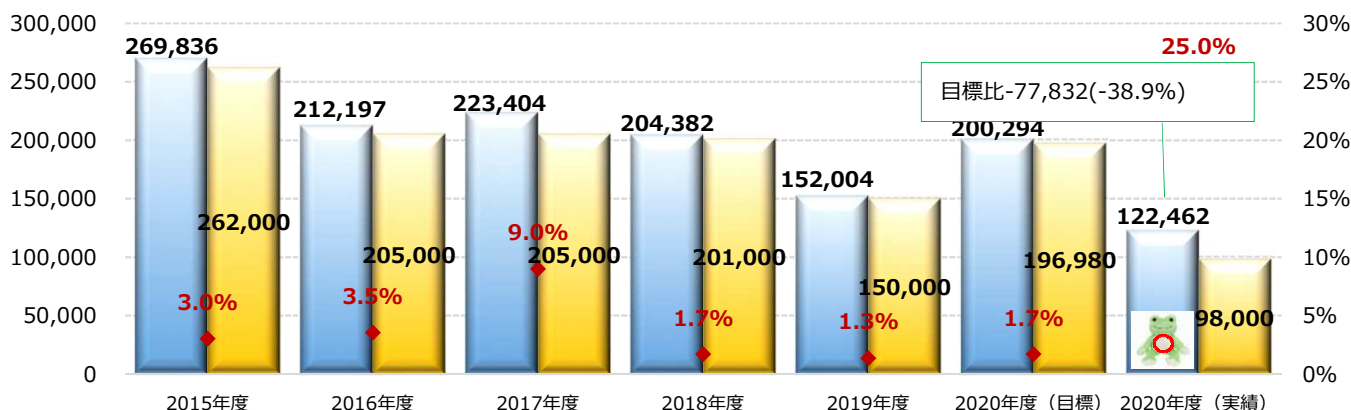
電力使用量は、新型コロナウイルス感染対策のために時差勤務体制と残業時間の減少に伴い、目標に対し-1.7%となりわずかですが目標未達となりました。引き続き社員に対し節電対策を呼びかけます。

ガソリン給油量(リットル)



ガソリン給油量は、サンワと同様で営業訪問の自粛、カーシェアの利用促進により目標を達成できました。引き続きカーシェアの利用を促進しガソリン給油量の削減に努めます。

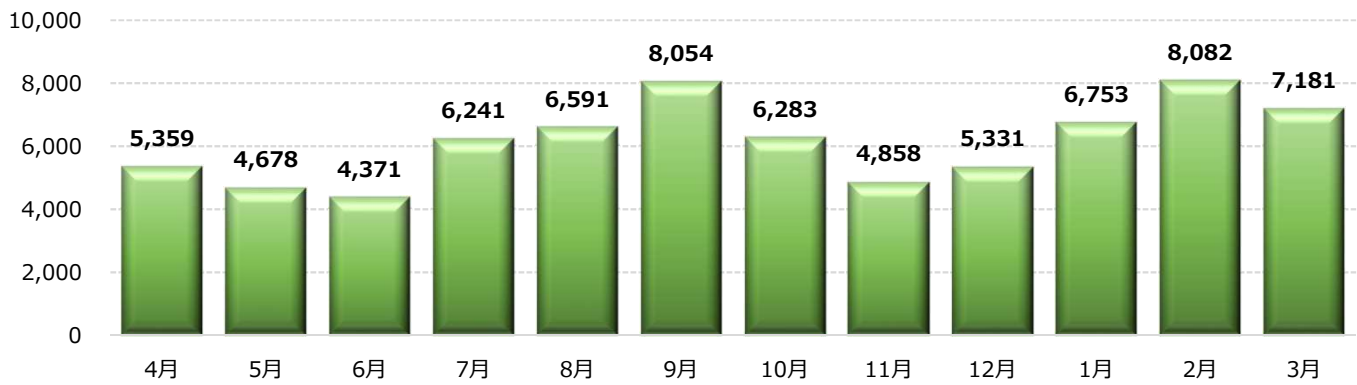
複合機カウンター数/コピー用紙購入数/両面プリント率



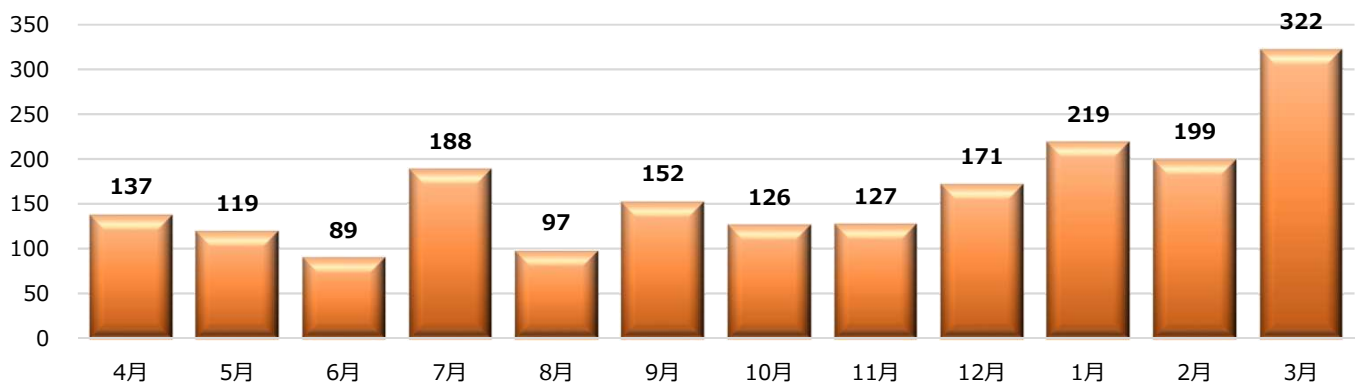
コピー用紙購入数は、一部事業部の設計請負の受注が激減し、コピー用紙の使用量が約10万枚減りました。2021年度は目標数値の変更を検討します。

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)

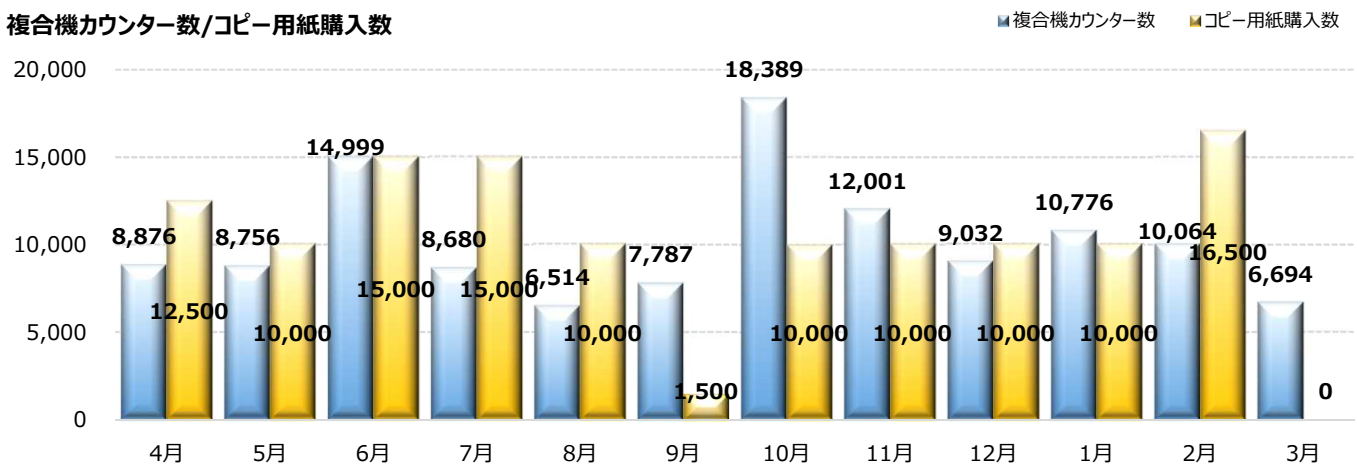
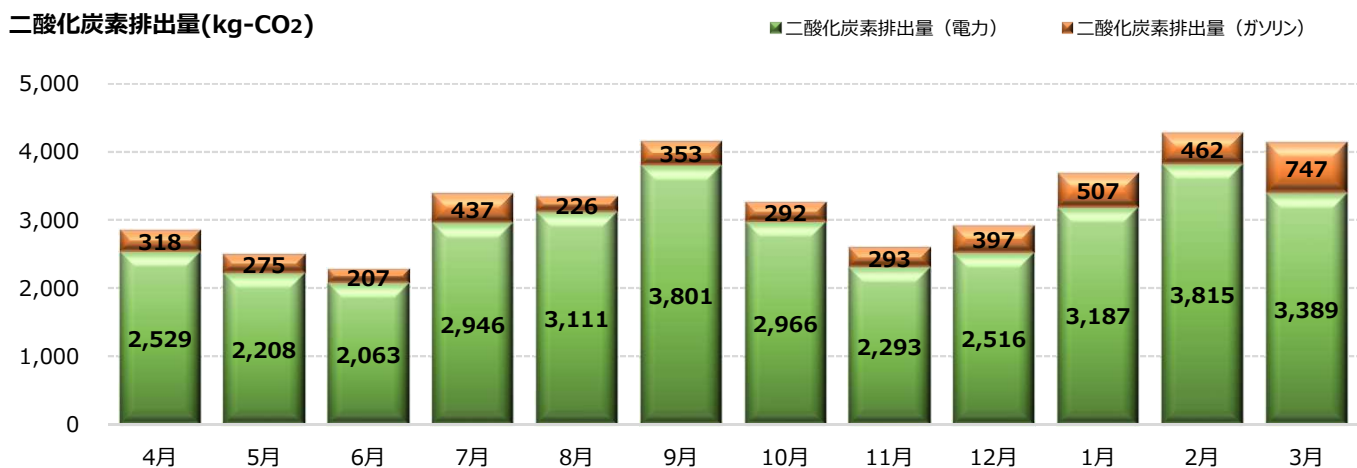
電力使用量(kWh)2020年度



ガソリン給油量 (リットル)



複合機カウンター数/コピー用紙購入数

二酸化炭素排出量(kg-CO₂)

アルムメディカルサポートは、2021年に日研トータルソーシング及び関連会社とともに、サイト拡大現地審査を受けて段階的認証となりました。2020年度の実績を基に2025年までに本社を含めた全14拠点での認証・登録を目指します。

7. 環境経営活動トピックス

日研トータルソーシングでは、定期教育にSDGsについて各職員から、社会・経済・環境に関する目標を教育記録に記載していただきました。

環境保護関連では、食品ロスに関する目標が最も多く、他にフェアトレード商品や地産地消の購入、森林・絶滅危惧種の保護、天然資源を活用しエコロジー社会の実現、世界を支える水産物や森林の保護、エコドライブの実践、公共交通機関の利用などが記載されていました。

また、人材サービスの業務を行っているため、できるだけ多くの人に雇用の機会を提供していく、ディーセントワーク、開発途上国の若者に先進国の技能を習得してもらう、包括的かつ持続可能な経済成長および生産的な働きがいのある人間らしい雇用の促進、働きがいのある仕事・安全・安心な労働環境作りができるよう教育指導する等の目標もありました。



8. 環境関連法規等の遵守状況

環境法規制への遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規制への違反はありませんでした。
環境法規制への遵守活動を通じて、関係当局より違反等の指摘、指導はありませんでした。
周辺住民からの環境に関する苦情、訴訟についてもありませんでした。

遵守している：○、要確認：△

法令・条例規則の名称	条項	規制内容等	環境管理 責任者評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 廃棄物の適正処理と減量	○
	第12条	事業者の処理 廃棄物の適正保管、マニフェストの交付、交付報告	○
労働安全衛生法	第3条	事業者等の責務 職場における労働者の安全・健康を確保	○
	第11.12条	安全管理者・衛生管理者 安全・衛生管理者の選任	○
	第66条	健康診断 労働者に対しての健康診断の実施	○
環境基本法	第8条	事業者の責務 公害防止、廃棄物の適正処理、再生資源の利用	○
地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	事業者の責務 温室効果ガスの排出抑制、国/地方公共団体の施策に協力	○
環境教育等による環境保全の取組みの推進に関する法律	第10条	職場における環境保全の意欲の増進及び環境教育 雇用する者に対し環境教育を行うように努める	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第5条	指定製品及び特定製品の管理者の責務 フロン類の管理の適正化、国/地方公共団体の施策に協力	○
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律	第4条	事業者及び消費者の責務 食品廃棄物の発生抑制、食品循環資源の再利用	○
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律	第7条	事業者の責務 使用済加賀田電子機器の分別排出	○
特定家庭用機器再商品化法	第6条	事業者及び消費者の責務 特定家庭用機器の長期間使用、適正排出	○

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

IN・OUT	項目	コメント
インプット情報	環境目標・環境目標達成状況	二酸化炭素排出量は、目標に対し約－188t-CO ₂ (目標比－10.9%)となった。新型コロナウイルス感染拡大に伴い営業自粛やテレワークを行った結果、電力使用量やガソリン給油量が減ったため。
	環境活動計画・取組実施状況	サンワとインターテクノでは、カーシェアの使用を促進しガソリン給油量が大幅に削減できた。 また、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、テレワークや取引先への営業活動自粛、Web会議の導入によりガソリン給油量、コピー用紙購入数が大幅に減った。2021年度もWeb会議を継続するよう検討する。
	環境関連法遵守状況	環境関連法規等の違反はない。 2020年度の中間審査時に、対象の拠点でエアコンが自社で購入したことが発覚し、点検と取り外し時のフロン排出に注意するよう指示を出した。
	外部コミュニケーション	外部からの環境に関する苦情・相談はない。
	内部監査での是正・予防処置	内部監査の結果より是正処置はない。 ただし、日研トータルソーシングにおいて、新任拠点責任者に対して環境活動の具体的な内容を推進事務局が行うこととした。
アウトプット情報	環境経営方針	2019年10月にガイドラインの改定により見直しを行った以降、改定の予定はない。
	環境経営目標	2018年度の実績を基準とし年1%、3年で3%削減。 2021年度までは、目標数値の見直しは行わないが2020年度の実績数値を基に数値目標を変更するか検討する。
	環境活動計画・取組項目	取組項目については、活動実績を基に継続的に取組内容の充実を図ること。 日研トータルソーシングでは、拠点により車両の台数が違うので、拠点別の総給油量ではなく、1台あたりの平均給油量にするように変更する。ただし、全社での総給油量と二酸化炭素の排出量はそのままの実績数値とする。
	《全体評価》	
	コロナ禍による、営業活動の自粛、テレワークの導入により電力使用量、ガソリン給油量、コピー用紙購入数が目標値に対してマイナス（削減）となったが、外的要因のため実績数値は参考とすることにする。2021年度もコロナ禍の影響が考えられるので、テレワークやWeb会議などで使用量の減少が考えられる。 2022年度以降は、基準年の設定を前年度までの実績値を平均とすることか検討する。 また、SDGsに関する取組みも環境活動内容を精査し推進すること。 アルムメディカルサポートについては、2025年までに全拠点が対象となるように統括事務局がサポートすること。	

環境経営レポート2021年度版は2022年8月31日発行予定です。